

国保・後期高齢者ヘルスサポート事業における「保険者支援力向上のためのガイド」の作成について（案）

現 状	<p>平成 26 年度から国保・後期高齢者ヘルスサポート事業が開始され、各国保連合会には、保健事業支援・評価委員会が設置され、保険者支援が開始されており、令和 3 年度で、8 年目を迎える。</p> <p>令和 2 年 12 月 15 日開催の国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会ワーキング・グループの中で、ヘルスサポート事業の今後の方向性を議論した際、令和 2 年度より一体的実施も開始され、支援保険者数が増加する中で課題も見えてきており、支援・評価委員会の事務局機能の向上に向けたご意見をいただいた。</p> <p>①支援の標準化だけではなく、実際の支援事例（成功事例）を通じた学びが必要。（連合会同士の学びの場など）</p> <p>②支援モデルの提示</p> <p>③連合会の役割は大きく、連合会職員の人材育成が必要。</p> <p>④今後、一層、都道府県との協働と役割分担が重要。</p>
作成の目的	<p>今までの保険者支援を踏まえた上で、国保連合会の役割等を明確化し、更なる保険者支援の充実を図るため、現行の事業のガイドラインとは別に、効果的な支援手法として蓄積されているノウハウ等を整理したガイドを作成する。</p>
現状を踏まえたガイドラインに盛り込む内容（案）	<p>ガイドの内容として、以下のものが考えられる。</p> <p>①保険者支援の流れについて、支援モデルを通じて効果的な方法・手順等を提示</p> <p>②運営委員会、国保中央会、支援・評価委員会、国保連合会の役割の明確化</p> <p>③各関係機関との役割の整理</p> <p>④連合会の支援事例とそこから得られたポイントと留意事項等の提示</p> <p>⑤支援・評価委員会の開催形態等の工夫点</p> <p>⑥支援効果の見える化の検討</p>
方 法	<p>①連合会、支援・評価委員会委員及び運営委員会委員へのヒアリングを実施し、課題の対処方法を含め、効果的な支援に関する共通の要素を抽出し、支援モデルを作成する。</p> <p>②連合会への調査票を用いた支援状況等調査の実施</p> <p>③連合会職員で構成された部会での協議・検討</p> <p>④その他、支援方策を有する者（協会けんぽ等）へのヒアリング等</p>
検討の場	<p>国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会及び WG</p>
作 成 後	<p>①人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援ガイドをもとにした研修会の実施（連合会同士の学びの場） <p>②支援ガイドの活用機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異動してきた職員や新規に採用された職員など、連合会の職員の異動の際に活用 <p>③活用の結果、不足部分等を検討し、ブラッシュアップしていく。</p>